

佳作

今のわたしにできること

福島県 会津若松市立一箕小学校二年 松林 甘奈

ユーチューブで、小にがんたたたかう女の子の動画を見ました。その女の子は「あおいちゃん」という名前で「のうかんグリオーマ」というびょうきとたたかっていました。むずかしい名前のびょうきだったので、おかあさんといっしょに、インターネットでしらべてみました。「のうかんグリオーマ」は、頭の中にできるがんで、おいしゃさんが手じゅつでなおすことができないところに、がんができるのだそうです。なおすくすりも、今はまだ見つかっていないそうです。だんだん体がうごかなくなっぴょうきがわかってから、一年くらいでしんでしまうのだそうです。とてもかなしいびょうきだとおもいました。

あおいちゃんは「ホスピス」というびょういんにゆういんしていました。小にがんの子どもたちがの、かつらをつくるのに、つかってくださるのだそうです。

にゆう学したときにくったかみのけは、今はせなかくらいまでのびました。もうすこしのびて、ヘアドネーションできるながさになったら、またきつてもっていきたいとおもいます。びょうきといっしょうけんめいたたかっている人たちを、わたしのかみのけでえがおにできたらよいとおもいます。

今わたしにできることはそれくらいしかないですが、これからおとなになったら、なにができるのか、考えたいです。びょうきの人も、そうでない人も、しあわせに生かっできるために、わたしができることを、すこしずつやっていきたいとおもいます。がんばります。

にゆういんできるびょういんです。あおいちゃんは、おにいちゃんといっしょにゲームをしたり、みんなでごはんをたべたりして、ほんとうのじぶんのいえるように生かっしていました。お父さんときょうだいは、いつもはしごとや学校でいっしょにいれませんが、しゅうまつやなつ休みは、みんないっしょでした。やさしいかぞくといっしょにすごすことができ、よかったです。

さいごは、わたしより小さい年の六さいで天ごくへ行っしまいました。あおいちゃんのかぞくの気もちを考えると、むねがぎゆうっとくるしくなりました。わたしのかぞくがしんでしまうなんて、こわくて考えたくありません。でも、あおいちゃんのお父さんとおかあさんは、あおいちゃんにいろいろやらせてあげられてよかったです。

わたしには、なにができるのだろうと考えました。小学校ににゆう学したとき、ヘアドネーションをしました。ようちえんのころから、二年かんくらしいのびしたかみのけを、びょういんで、ヘアドネーションできるように、ゴムでむすんできつてもらいました。ライオンズクラブの人があずかってくれました。がんのちりょうでかみのけがなくなってしまう人